

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

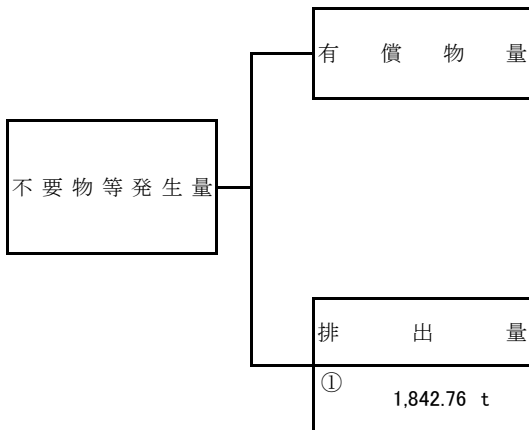
(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和 6 年 6 月 24 日			
北九州市長 殿			
提出者 住 所 福岡市博多区博多駅前1丁目5番1号 氏 名 松鶴建設株式会社 代表取締役 川田 和人 電話番号 092-411-1510			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物 処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	松鶴建設株式会社		
事業場の所在地	福岡市博多区博多駅前1丁目5番1号		
事業の種類	建設業		
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	1,567 t	全 処 理 委 託 量	1,567 t
自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	0 t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	5 t
自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	0 t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,562 t
自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	0 t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t
※事務処理欄			

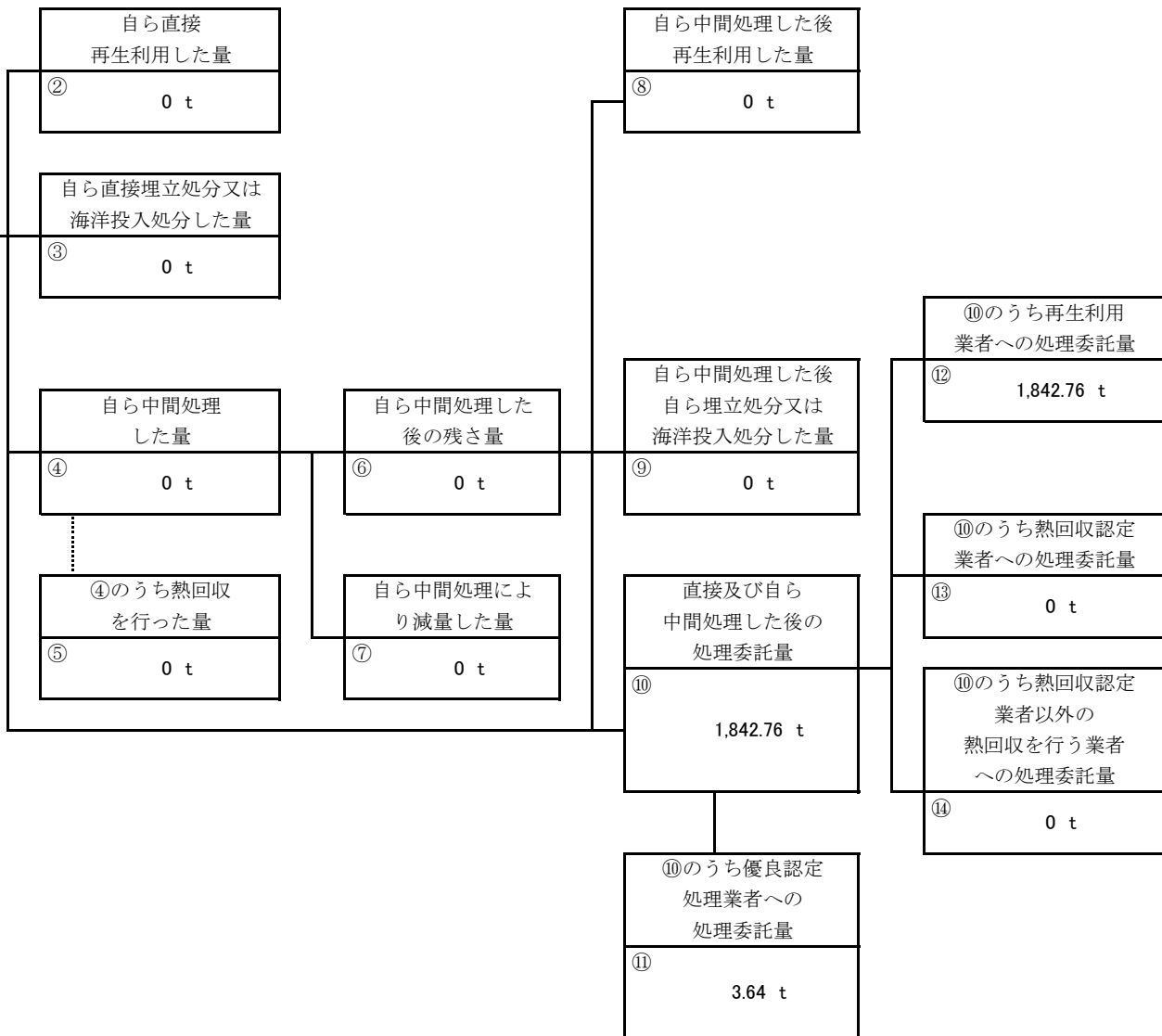
(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：全体（がれき類・建設汚泥・混合廃棄物）)

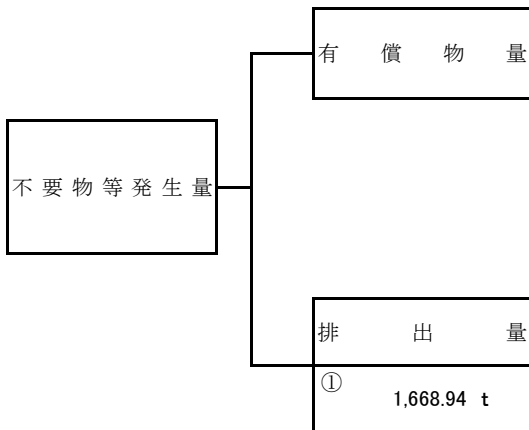


項目	実績値
①排出量	1,842.76 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	1,842.76 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.64 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1,839.12 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

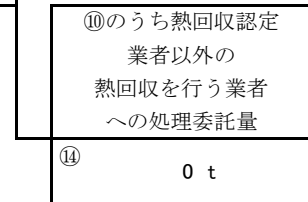
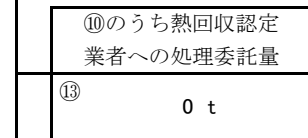
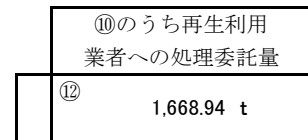
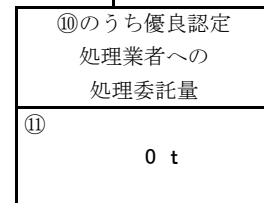
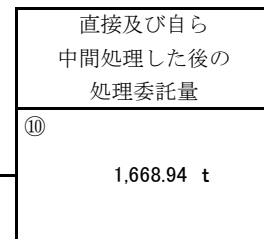
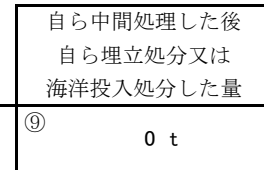
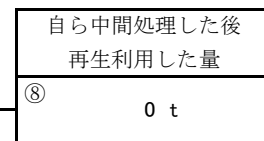
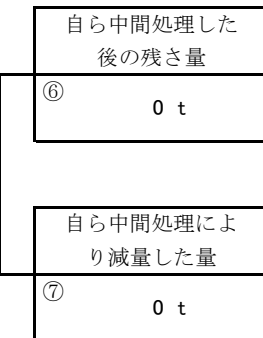
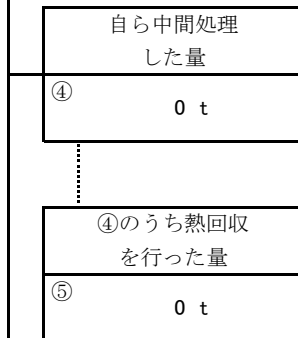
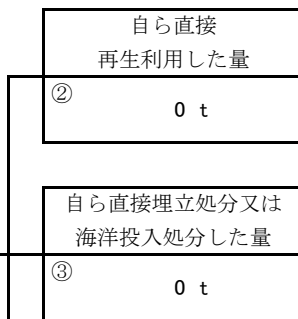


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：がれき類・コン殻・アス殻・その他のがれき類)

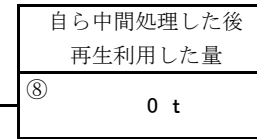
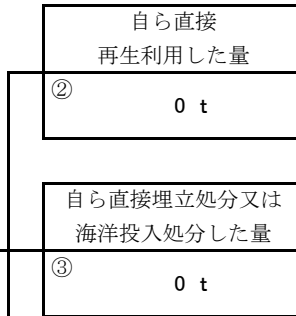
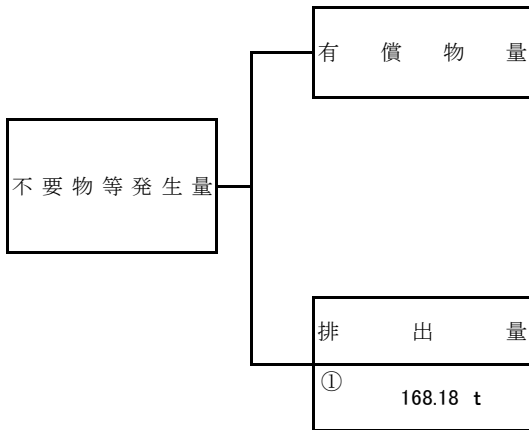


項目	実績値
①排出量	1,668.94 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	1,668.94 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1,668.94 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

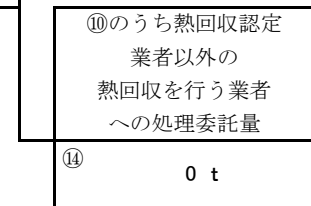
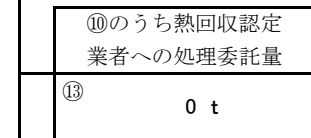
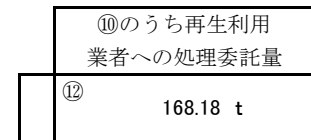
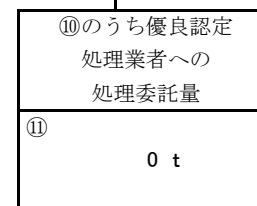
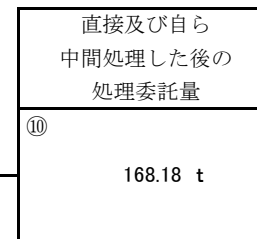
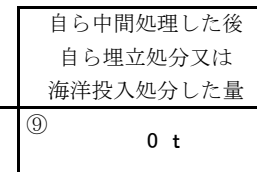
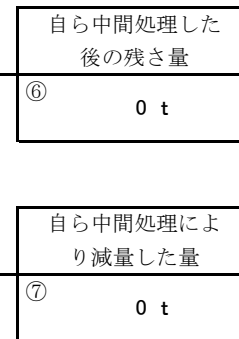


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：建設汚泥)

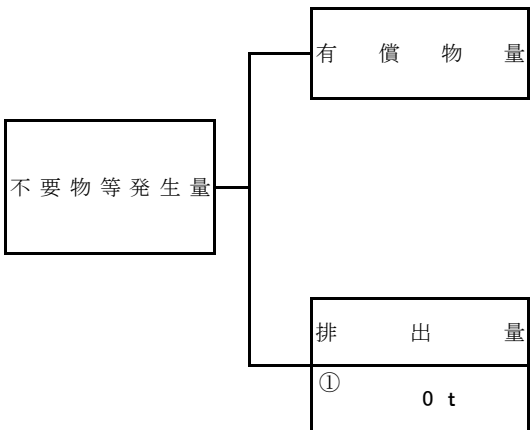


項目	実績値
①排出量	168.18 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	168.18 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	168.18 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

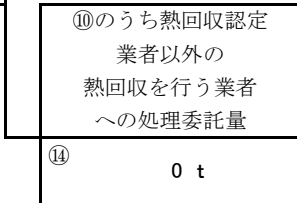
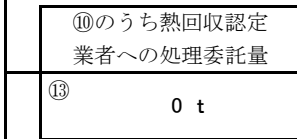
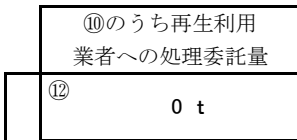
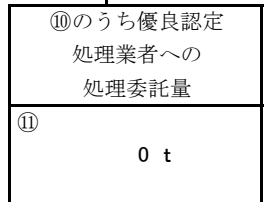
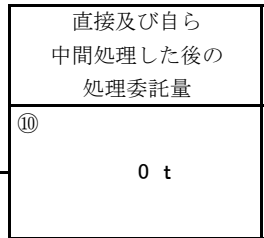
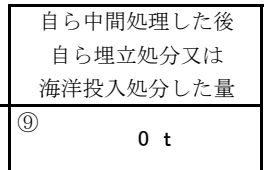
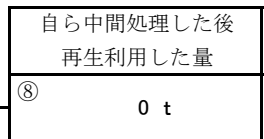
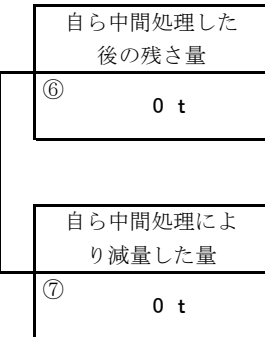
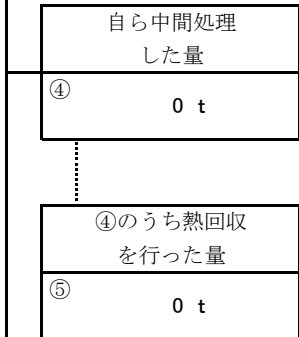
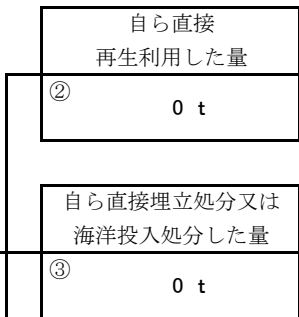


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：繊維くず)

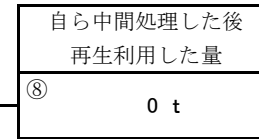
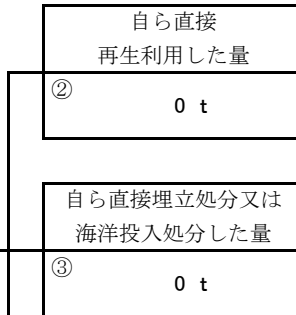
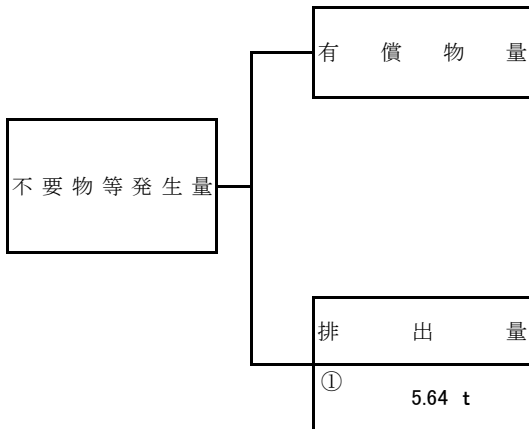


項目	実績値
①排出量	0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

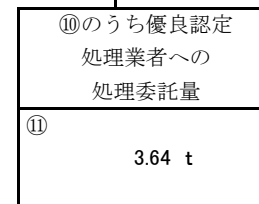
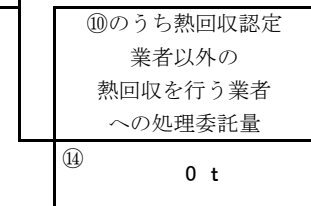
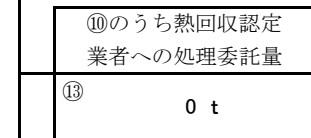
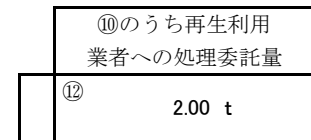
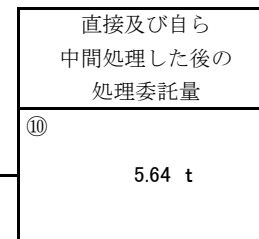
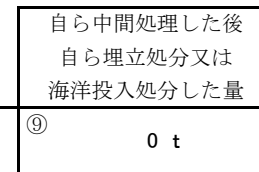
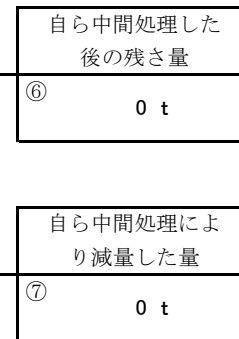


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：混合廃棄物)



項目	実績値
①排出量	5.64 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	5.64 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.64 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t



(第3面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 24日

北九州市長 殿

提出者

住所 福岡市博多区博多駅前1丁目5番1号

氏名 松鶴建設株式会社

代表取締役 川田 和人

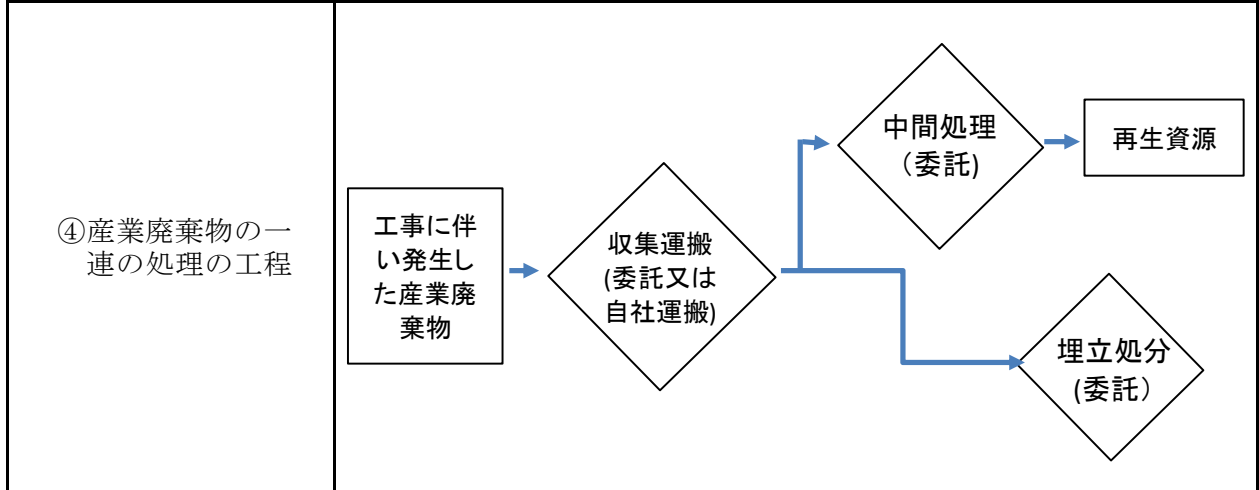
電話番号 092-411-1510

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	松鶴建設株式会社
事業場の所在地	福岡市博多区博多駅前1丁目5番1号
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

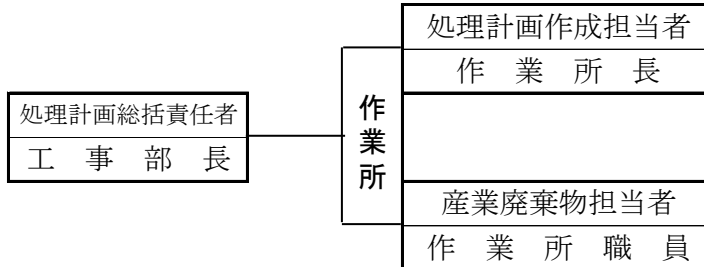
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	26億円
③ 従業員数	44名



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

管理体制図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（R5年度）実績】 1,842.76t（4現場：完了2現場・継続2現場）					
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	木くず	繊維くず	混合廃棄物
	排出量	1,668.94 t	168.18 t	0 t	0 t	5.64 t
<p>（これまでに実施した取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計値に対して必要最小限の余掘り巾・厚さ確保による削減。 ・無理な工程、粗悪な管理による手戻り防止による発生量の抑制。 ・分別収集の徹底し再利用、再生利用の促進。 ・ISO14001の環境方針・令和4年度実施計画書により削減を目指した。 						
②計画	【目標】 1,567 t（4現場：継続2現場・新規2現場）					
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	木くず	繊維くず	混合廃棄物
	排出量	1,420 t	142t	0 t	0 t	5 t
<p>（今後実施する予定の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計値に対して必要最小限の余掘り巾・厚さ確保による削減。（がれき類の搬出抑制） ・無理な工程、粗悪な管理による手戻り防止による発生量の抑制。（資源の無駄「ゼロ」） ・分別収集の徹底し再利用、再生利用の促進。（再生率の低い混合廃棄物の削減） ・材料搬入時の梱包材・梱包紙で再利用可能なものは、業者に引き取らせる。 ・ISO14001の環境方針・令和5年度実施計画書の取組みにより削減を目指す。 ・混合廃棄物の目標：2.80 t/億円（5ヵ年計画値2%の削減） 						

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	<p>（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組み）</p> <p>がれき類（コンガラ・アスコンガラ・その他のがれき類）は分別収集 金属くず・廃プラスチック・紙くず・木くず・繊維くず等は、原則分別収集</p>
②計画	<p>（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組み）</p> <p>がれき類（コンガラ・アスコンガラ・その他のがれき類）は分別収集 金属くず・廃プラスチック・紙くず・木くず・繊維くず等は、原則分別収集</p>

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（R5年度）実績】 0t						
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	木くず	繊維くず	混合廃棄物	
	自ら再生利用を行なった産業廃棄物の量	0t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	(これまでに実施した取組) 特になし。						
②計画	【目標】 0t						
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	木くず	繊維くず	混合廃棄物	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 特になし。						

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（R5年度）実績】 0t						
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	木くず	繊維くず	混合廃棄物	
	自ら熱回収を行なった産業廃棄物の量	0t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0t	0 t	0 t	0 t	0 t	
(これまでに実施した取組) 特になし。							
②計画	【目標】 0t						
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	木くず	繊維くず	混合廃棄物	
	自ら熱回収を行なった産業廃棄物の量	0t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0t	0 t	0 t	0 t	0 t	
(これまでに実施した取組) 特になし。							

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（R5年度）実績】 0t						
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	木くず	繊維くず	混合廃棄物	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	(これまでに実施した取組) 特になし。						
②計画	【目標】 0t						
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	木くず	繊維くず	混合廃棄物	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行なう産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 特になし。						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（R5年度）実績】 1,842.76 t						
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	木くず	繊維くず	混合廃棄物	
	全処理委託料	1,668.94 t	168.18 t	0 t	0 t	5.64 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	3.64 t	
	再生利用業者への処理委託量	1,668.94t	168.18 t	0 t	0 t	2.0 t	
	認定熱回収業者への処理委託料	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
(これまでに実施した取組) ・可能な限り分別を行い、他の廃棄物と混合しないよう管理した。 ・ISO14001の環境方針・令和4年度実施計画書により削減を目指した。							

【目標】							1,567 t
産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	木くず	繊維くず	混合廃棄物		
全処理委託料	1419.0 t	143.0 t	0 t	0 t	5.0 t		
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	5.0 t		
再生利用業者への処理委託量	1,419.0 t	143.0 t	0 t	0 t	0 t		
認定熱回収業者への処理委託料	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t		
認定熱回収業者以外の熱回収を行なう業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t		
(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り分別を行い、他の廃棄物と混合しないよう管理する。 ・ISO14001の環境方針・令和5年度実施計画書の取組みにより削減を目指す。 ・優良認定を受けた処理業者に可能な限り委託する。 ・材料搬入時の梱包材・梱包紙で再利用可能なものは、業者に引き取らせる。 							

②目標

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。